

コロナ禍3年目の芸術家派遣事業 学校からの文化的体験への期待と高い評価

文化庁による「文化芸術による子供育成推進事業」委託事業に111校から申し込み 91校で実施

特別支援学校7校 学校院内学級1校 小学校83校 参加数： 3,653人



女の人の役 この姿勢、きつーい！

チャイルドライン千葉【着信状況データから】

今年度に入り、小学生と思われる子どもたちから、コロナの制限が緩んできている中、「うれしい」「のびのび」気持ち話す電話が増えてきている。一方で、「自分自身」のことを主訴として、相手や他の人ではなく、自分自身の問題として捉え、自己肯定感のなさからくる不安や自信のなさも多くみられる。



【子どもの声から】（プライバシーに配慮して再構築しています。）

- ・修学旅行のお土産は何がいいかなあ。雨男の先生と晴れ女の先生と両方いる。晴れ女の先生強そうだから晴れるかな。
- ・最近、友だちと仲良くできない。「何話してるの?」と聞いたら無視されてる気がして、みんなの「わ」に入りたいけど、誰にも言えない。
- ・学校のアンケートに虐待されてると書いていいのかな。殴られたりけられたりするけどこれは虐待? 普段は優しいし大好きな両親だから仲良くしたいけど、殴られたくない。
- ・学校にノートとか忘れると、「自分のせいで忘れてしまった」「自分の存在はここにいない」と思う。自分に対する苛立ちが溢れて自分のことを傷つけてしまう。こんな自分は嫌だっとなる。

子どもたちの反応がすごかった歌舞伎ワーク

正解・不正解がない授業では、普段見せない表情や意欲的な態度で担任教師を驚かせ、プロによる本物の力を高く評価する学校
学校ではできるだけ多くの体験の機会をつくり、興味・関心を高め、世界を広げることが先生は奮闘されている。芸術家による興味関心の持たせ方、心を開放させる魅力的な授業は、先生の学びでもあり、子どもたちはおもしろく楽しい授業として、年々評価が上がっている。

「体験活動は制限されることなく子どもたちに保障されるものである」を、揺るぎなく事業を中止しないですべてしてきた。

コロナ感染が広がりはじめた直後、コロナ禍での子どもNPOの活動の在り方を学習し、できる限りの感染対策をとり、学校や芸術家との信頼関係を崩さないよう、細心の注意を払う、活動を途切れることなく続けてきた。中止になった学校は1校もなく豊かな文化芸術体験を県内各地で展開することができた。

コロナ感染が学校内の活動制限が生活を一変させ、体験の機会が消えた

入学式や卒業式をはじめとする学校行事が取りやめあるいは縮小、音楽の歌唱やリコーダー演奏もなくなってしまう。徐々に元に戻りつつあることは喜ばしく、今後、学校の内外に多様な体験の場が用意され、子どもたちが輝く場が増えていくことを心から願っている。

コロナ禍での体験機会減少の影と文化芸術体験に期待されるもの

学校教育活動全体では教科の学習でもほかの学習でも生きる力を育むための直接体験が重視されている。芸術家による芸術家派遣事業では、演技披露だけではなく、歴史、技法、コミュニケーション、視覚、聴覚、触覚、感動、表現、想像が働き、学びと感性を育む機会となっている。また、児童、生徒の感動体験、様々な興味関心を引き出す学びの場にもなっている。活動制限による体験の減少は、はじめてとりくむことへの意欲や表現することの苦手意識を持たせ、人間関係の形成にも影響を及ぼしている。

「チャイルドライン千葉」の声から、自分自身を肯定できず、また、友達との関係を気にして、不安になったり、自信がなくなっている様子が見てとれる。自分を好きになることや、自分の持っている良いものに気づく場を、子どもたちの周りにたくさん用意していく必要がある。

身近でもなく興味・関心もなかった歌舞伎がおもしろい！
知れば知るほど奥深く大発見！

- ・女の人の役を男の人が肩の骨をよせて足を曲げてやり、やるだけでもつらいのに、二時間以上もやってすごいなと思いました。 /・歌舞伎は迫力があってかっこよかった /・一回でもいいから歌舞伎を観たくなりました。 /・歌舞伎についてあまり知らなく、興味もありませんでしたが、ひとつひとついいいに教えてくださりよくわかりました。 /・もっと知りたいと思いました。 /歌舞伎のことにかかわる仕事をやってみたくまりました。 /・いろんな練習をしてすごいなと思いました。 /・いろんな人が力を合わせて完成されると聞いて協力することは大事だと思いました。 /・歌舞伎が身近になった。 /・メイクが一番驚きました。ただ白を塗っただけだと思っていた。 /・表情や身ぶりに工夫がされていることを知れて、とても楽しかった。